

参加者	こみんか学生拠点 (三田で地域活動に取組み事業家をめざす若者グループ)	人数	10人
主な意見			
<p>(三田が若者の人生を変えるフィールドに)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三田市の大学生は大学には通うが、町の中に入ってくる機会がない。古民家という学生の地域活動拠点を構えることで、ここでは町の人との関係を結ぶ接点を創っている。普段会えない大人と話す機会を持つことで、学生の意識や人生が大きく変わる。町にとっても新たな化学反応が起こっていると感じる。 <p>(三田の自然と立地は京都・大阪にない潜在能力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生中心に、観光プロジェクトを立ち上げた。三田は資源がないと思われがちだが、人を惹きつけるポテンシャルは大きい。例えば、三田市の田んぼを一面見渡せるようなレストランや、森の中にカフェなど、大阪や京都に出来ない強いコンテンツを三田は創れる。三田は高速道路の結節点だが、素晴らしい自然がある。 <p>(市街化調整区域のハードルとジレンマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三田の自然を活かして、コンテンツ開発を進める際に、市街化調整区域の制限が大きなハードルになる。こうした規制は早期に見直していくべきだと思うが、一方で実際に開発を望まない住民もいる。また意図しない開発が起こることも心配。 			